

# 水稲・大豆の生育と管理

令和元年10月号

北部振興局集落営農・農地活用第一班

## 1. 水稲

### ◎令和元年産の生育概況

- ・7月の低温寡照により茎数が少なく徒長気味でしたが、8月上旬が高温多照で推移したため徒長気味の生育は改善されました。
- ・成熟期の予測は下表を参照して、適期収穫のための準備をしましょう。

＜令和元年産ヒノヒカリの成熟期予測＞（9月2日現在）

田植え日	6月15日	6月20日	6月25日	6月30日	
成熟期予測	200m	10月15日	10月18日	10月21日	10月26日
	100m	10月11日	10月14日	10月17日	10月21日
	10m	10月7日	10月11日	10月13日	10月16日

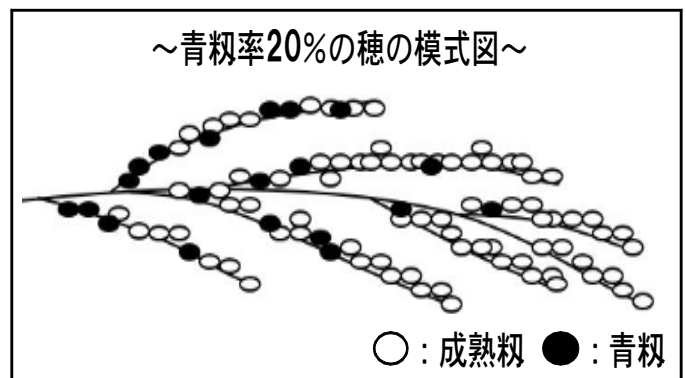
※メッシュ農業気象データによる予測です。

※上記は目安です。圃場を確認し、青籾率20%で収穫しましょう。

※にこまるは上記より+5日が目安です。

### ◎収穫適期の判定

- ・収穫適期を逃すと品質が低下します。
- ・早刈りでは、収量の低下に加えて、未熟粒、青米が混入します。
- ・遅刈りでは倒伏による減収が懸念され、さらに、茶米、乳白米、胴割米が発生し、等級の低下につながります。
- ・収穫の目安は青籾率20%です。
- ・青籾率20%の目安としては、下側2本の枝梗の根本から3粒程度に青籾が残っている状態です。



適期収穫で、品質の向上を目指しましょう！！

裏面へ

## 2. 大豆

### ◎大豆の収穫準備

- ・ヒユやホオズキ等の雑草や青立ち株は、必ず収穫前に抜き取りましょう。
- ・コンバイン内で青立ち株や雑草の汁が大豆に付着し汚損粒の原因となります。



汚粒大豆

ホオズキ

### ◎難防除雑草対策

#### ●蔓延を防ぐポイント

- ・雑草が開花し結実する前に防除し、種子を作らせないようにしましょう。
- ・機械作業は可能な限り雑草の発生が少ないほ場から順に行いましょう。

#### ●圃場内で見つけたとき

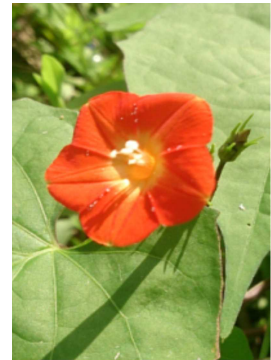
- ・早急に刈り取り・抜き取りを行うか、非選択性除草剤で防除しましょう。
- ・熟れていない株でも種子が後熟し、発芽能力を持つことがあります。
- ・除去した雑草は放置せずにほ場の外に持ち出しましょう。



ホオズキ類



ツユクサ類



アサガオ類

### 農作業時の注意点



#### ◎周辺に配慮した農作業を!

トラクターやコンバインでの圃場作業後、公道を走行する前にタイヤ等についた泥は圃場内で落とし、公道に泥を落とさないよう注意しましょう。

住宅地付近での早朝や深夜の作業の際には、騒音等への配慮をしましょう。

#### ◎農作業中の事故に注意!

トラクターの転倒事故や整備中の事故、手こぎ中の事故の事例があります。

農作業はあわてず、あせらず行い、安全確認を徹底し事故に十分注意しましょう。